

公民館瓦版

流し素麺 素麺流し

公民館行事のバックヤード

夏の風物詩「流しそうめん」。考えただけで涼しげな気分になります。今日は、ここ六条公民館で流しそうめんイベントがあるらしい。流しそうめんは竹を縦半分に割ったものを利用して水とそうめんと一緒に流し、流れてきたそうめんをお箸ですくいながら食べるもの。競い合い、お口に頬張りながら食べる流しそうめんはお腹も心も満たしてくれま。そんな流しそうめんを行う際に必要なものと言えは竹です。今では竹に似せて作られたプラスチック製のプラ竹も販売されています。



とても軽く持ち運びにも便利ですが、本格的な流しそうめんを楽しみたいという方は、やっぱり本物の竹を使用するに限りませぬ。館長自ら準備に怠りませぬ。調理室では、ネギを刻む音が・・・準備にひと苦労あると思いますが、それも楽しみの一つです。既に外には、テントが立てられ、簡易ではありますが、竹樋が準備され、本番の時を待っています。子供たちとワイワイ賑やかに流しそうめんを・・・食育の一環でもあります。

冷たい水と一緒に流れてくるそうめんを掴もうと、子どもから大人までついつい夢中になってしましますが、いつ・どこで始まったのかご存知でしょうか？
流しそうめん発祥の地は宮崎県の高千穂町で、昭和30年生まれの意外と新しい食べ方です。暑い夏の野良仕事の際に野外でそうめんを茹で、竹と高千穂峡の冷水を利用して涼を得た光景から、思いついたと言われています。

第001号
発行所 六条公民館
編集 広報部
発行 不定期
適時無料配布

ん」と言います。「そうめん流し」はテンプル流し、「流しそうめん」は竹流しです。「そうめん流し」の発祥は鹿児島県指宿市の唐船峡です。唐船峡の清水は1日10万トンも湧出するため、昭和37年に観光アピールとしてそうめん流しが始まりました。

が行われました。以前の国内最速記録は、時速1.45キロと自転車をごくスピードと同じ速さが最速とされてきました。しかし世界流しそうめん協会が、高圧洗浄機を使用し水を高速で流すことで時速30キロ超えという新記録を樹立しました。

江戸時代の万之瀬川の河添溪谷に南さつま市でのそうめん流しや川魚料理などについても紹介。現代で定番の「そうめん流しに川魚料理・アルコール」といった食事メニューの源流がうかがえるといえます。

世界最速記録
平成25年7月11日に、京都駅ビルの大階段で流しそうめんの最速記録への挑戦

高低差世界一
平成27年7月19日に、サントリと世界流しそうめん協会が協力し、高低差世界一への挑戦が行われました。「日本を再発見するプロジェクト」の一環として行われ、徳島県三好市の奥祖谷の落合集落で実施されました。山肌の急な傾斜に高さ265日竹製の竹製レールが設置され、これまでの同協会が持つ、熊本県菊池市での130日抜き、高さ265mに見事成功しました。



私の楽しみは、焼き鳥。そうめんは流れが速く、箸使いがムズいけど、こちらは串だから、簡単。子供には負けない自信があります。



むむ、焼き鳥？